



# 結の里「南信州」通信

Vol.26

令和6年度南信州地区賛助会交流事業「大平宿星観望交流大会」が9月4・5日（水・木）一泊二日で、生活体験博物館「大平宿」で行われました。

大平宿は江戸中期に拓かれ、明治以降林業等で栄えましたが、昭和30年代に国道が清内路に移り村が衰退、昭和45年集団移住によって村の歴史を閉じました。

昭和40年代後半、大平集落保存活動が始まり、現在は「いろりの里・大平宿・生活原体験の場」として全国の方々に利用されています。

大蔵さん（43期）が所有されていた「屋号・下紙屋」に宿泊、夕食は外での焼肉バーベキュー。その後、賛助会員グループ「星めぐりの会」の三浦さん（38期）からプロジェクターを使っての星の説明を頂き、夜9時頃より1時間程、大平宿の星空を観望しました。観望会終了後、囲炉裏を囲んで深夜まで大蔵さんから大平宿の歴史のお話を聞かせて頂きました。



43期・大蔵さんが所有していた屋号「下紙屋」



夕食は外での焼肉バーベキュー



38期・三浦さんから解説「星の勉強会」



「いろり」を囲んで、深夜までの懇談会